



バンコク便り



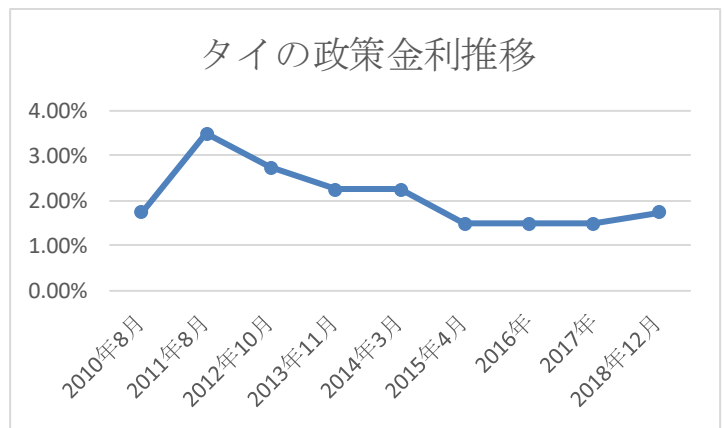
1. はじめに

10月下旬から乾季となったタイでは12月に入り朝晩がさらに涼しくなったように感じます。この季節は雨も少なくなり観光のベストシーズンとして世界中から多くの観光客で賑わっております。一方、雨が降らないことにより大気汚染物質が溜まりやすく近年では深刻な問題となっており、この時期、バンコクに長期滞在されるご予約の方にはマスクのご用意をおすすめします。それでは今月も当地の最新情報をお届けいたします。

2. 当地ビジネス情報

タイの政策金利について

12月19日にタイ中央銀行は、政策金利を1.5%から1.75%に引き上げました。景気拡大が進み、金融緩和政策の必要性が低下したと判断したようです。タイ中央銀行では2014年3月から2015年4月にかけて政策金利を2.35%から1.5%に段階的に引き下げ、それ以降は1.5%で据え置いていました。タイ中央銀行が政策金利を引き上げるのは2011年8月以来、7年4ヶ月ぶりになります。東南アジアではアメリカの利上げを受け、



自国通貨の下落を防ぐため、インドネシアやフィリピンなどが利上げしてきましたが、ここタイは財政や経済が安定しインフレ率が抑制されてきたことから慎重な姿勢を続ける一方で、1.5%という低金利の長期化は、将来、金融システムの安定を損なう可能性もあると指摘する声もあがっております。今年のタイ経済は輸出や個人消費が好調で、昨年のGDP伸び率3.9%を上回る見通しであり、利上げ決定後の同国金融政策決定委員会の声明では、今後、外需は減速するものの成長軌道は続くものと予想されております。

3. 現地トピックス

タイから蔵王へのパッケージツアーの発表



タイの旅行会社「リアリー・リアリー・クール (Really Really Cool) 社、以下：RRC)」は11月30日、山形県蔵王でのスキーを中心とするパッケージツアーを発表するイベントをバンコク北部のショッピングセンターで開催しました。今回のツアー企画は、先月11月5日に設立された山形県タイ友好協会と山形市が全面協力しております。この日のイベントには、佐渡島駐タイ日本大使のほか、タイ・スキー・スノーボード協会の会長（国営タイ石油会社の前会長、元エネルギー相）、RRC社長の父で、デュシット・インターナショナル社（タイ大手ホテルチェーンの会長（タイ元外相）などが来賓として参加されました。また、当地（バンコク）山形県人会長として参加された山形県タイ友好協会の齋藤伸也理事からは、「タイのスキー人口は約1万人で、ニセコしか知らない人が多い。ただ、名家の子供はスイスなど欧州に留学しスキー経験のある人も多い」とのコメントがありました。本イベントを機に蔵王へのタイ人ツアー客誘致に向けた動きが一気に加速していきそうです。

来賓ご挨拶（佐渡島駐タイ大使）
写真提供：齋藤山形県人会長

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務G 石井、楨 023-626-9050
バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンチーム）齋藤 +66-(0)63-206-2823